

工業外国語(Technical English)		4年・後期・2学修単位(α)・必修 機械工学科・担当 坂本雅彦	
[準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標 (2)]	[システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標]	[JABEE 基準]	
	D - 1 (80%), C - 2 (20%)	(d-2a) , (f)	
<p>[講義の目的]</p> <p>国際化社会の到来に伴い、各種メディアを通じて科学・技術情報を正しく理解し、かつ正確に発信するためには工業技術英語の習得が必要不可欠である。本講義では、工業技術英語分野における使用頻度の高い表現や語句、さらには文法を理解・習得することを目的に、工業英検4級ないし3級レベルの能力を育成するとともに初心者レベルの技術英語文献等が読解できる能力を身に付けることを主な目標とする。</p>			
<p>[講義の概要]</p> <p>前半においては、工業英語検定試験の過去問題を教材として活用し、技術英語について広く理解する。後半においては、機械工学関連の文献読解・平易な英作演習を通して、使用頻度の高い語彙や語句が使用できるよう学習する。</p>			
<p>[履修上の留意点]</p> <p>適宜、プリントを配布するので、各自で整理・管理すること。別に、語彙や単語帳などのノートを各自作成し、暗記に努めること。授業中は、辞書(必携のこと)を活用して調べ、意味や用法を十分に調べ・理解した上で、語彙や単語帳に書き写すこと。分からない事項については、積極的に質問すること。</p>			
<p>[到達目標]</p> <p>後期中間試験: 工業英語検定試験4級及び3級レベルの能力</p> <p>学年末試験 : 機械工学関連分野の語彙・表現を習得し、平易な技術文の英作ができること。</p>			
<p>[自己学習]</p> <p>目標を達成するためには、授業以外にも各自目標を設定し、自身のスキルアップに努力すること。</p>			
<p>[評価方法]</p> <p>定期試験成績(60%)に課題演習・レポート点(20%)、授業態度点(ノート作成・公的試験受験等)(20%)を含めて総合評価する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>特に用いない。適宜、プリントを配布。</p> <p>[補助教材・参考書]</p> <p>文部科学省認定工業英検4級問題集 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 文部科学省認定工業英検3級問題集 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 工業英語ハンドブック 日本能率協会マネジメントセンター 日本工業英語協会 等</p>			
<p>[関連科目・学習指針]</p> <p>機械工学に関連した分野を中心とする。辞書(英和辞典、できれば和英辞典も)を必携のこと。工業英語検定試験(3級・4級)、実用英語技能検定、TOEIC 公開、TOEFLなどを積極的に受験するなどし、語学能力向上に継続して努力すること。</p>			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	工業外国語（総論）	本講義の意義と目的を説明する。また、代表的な例文を用いて、語彙及び表現方法の違いなど解説する。	
第2週	演習（1）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第3週	演習（2）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第4週	演習（3）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第5週	演習（4）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第6週	演習（5）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第7週	演習（5）	工業英検3・4級の過去問題の演習と解説。	
第8週	後期中間試験		
第9週	文献読解（1）	流体及び熱工学関連の文献読解。	
第10週	文献読解（2）	材料力学関連の文献購読。	
第11週	文献読解（3）	電気及び情報工学関連の文献読解。	
第12週	英作演習（1）	名詞と冠詞，代名詞（人称・指示・不定・関係代名詞）の用法について解説する。	
第13週	英作演習（2）	形容詞及び副詞の用法について解説する。	
第14週	英作演習（3）	動詞（文型・時制・能動態と受動態・不定詞・分詞および動名詞）の用法について解説する。	
第15週	英作演習（4）	前置詞と接続詞の用法について解説する。	
期末試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)